

# 令和7年度事業報告及び附属明細書

公益財団法人東京防災救急協会

## 令和7年度事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

令和7年度も引き続き、物価高騰など社会情勢の変化に対応しながら、都民が安心して暮らせる社会の実現を目指し、防火・防災・救急業務関係者の育成及び都民の防火・防災・救急の意識と行動力の向上に関する各種事業を積極的に推進した。

### I 公益目的事業

#### 1 公1事業

##### (1) 防火・防災・応急手当普及啓発事業(公1-1)

防火・防災意識と行動力の向上、応急手当の普及啓発、救急需要対策に係る普及啓発等を図ることを目的として、次の事業を実施した。

##### ア 普及啓発事業

##### (7) 「SAFETY LIFE TOKYO」(以下、「SLT」という。)の発行

防火・防災及び応急手当の知識に関する情報を掲載した情報誌を作成し、都民や学校、病院等の事業所及び区市町村に配布し、普及啓発事業を実施した。

【33号】4月10日…17,500部   【34号】8月1日…13,000部

【35号】10月1日…22,500部   【36号】2月1日…21,500部   合計 74,500部

##### (4) ホームページ、SNS等の活用

a 協会ホームページに「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づく公示のほか、協会の事業概要、財政状況及びコンプライアンスに係る情報等を公開するとともに、防火・防災及び応急手当講習の案内、申込受付状況等を公開した。

b X等のSNSを活用し、最新の防火・防災及び応急手当に関する情報、消防防災資料センター(以下「消防博物館」という。)及び池袋、立川、本所の各都民防災教育センター(以下「防災館」という。)等の各種イベントの案内、情報誌PRを目的とした情報誌掲載の著名人コメント動画の発信等を実施した。(計33回)

##### (5) 火災予防運動における防火・防災普及啓発事業(協働事業)

秋と春の全国火災予防運動の機会を捉えて、防火・防災思想の普及啓発事業を実施した。(秋:令和7年11月7日、春:令和8年2月24日)

a 火災予防運動ポスターの作成、配布(秋・春、各21,800枚)

b 著名人を起用した広報及び各予防運動イベント会場での、1日消防署長及び都民に対する防火防災訓練指導

秋：【タレント】鈴木福さん、総合校舎コクーンタワー

春：【タレント】近藤春奈さん、TOYOTA ARENA TOKYO

(イ) 危険物安全週間及び防災週間における防火・防災普及啓発事業（協働事業）

危険物安全週間及び防災週間の機会を捉えて、防火・防災思想の普及啓発事業を実施した。（危険物安全週間：令和7年6月8日～14日、防災週間：令和7年8月30日～9月5日）

a 危険物安全週間ポスターの作成、配布（30,000枚）

b 防災週間ポスターの作成、配布（13,200枚）

(ロ) 東京消防出初式における防火・防災普及啓発事業（協働事業）

東京消防出初式の屋内展示会場内において、防災啓発動画等を放映し、防火・防災思想の普及啓発事業を実施した。（令和8年1月6日）

(ハ) 防火防災標語による防火・防災普及啓発事業（協働事業）

a 防火・防災への参画意識や防災行動力を高めることを目的として、防火防災標語の選考委員会に委員として参画した。（令和8年2月16日）

b 広く都民等に防火防災標語の公募を周知するため、募集チラシを作成し、防火・防災思想の普及啓発事業を実施した。（20,000部）

(ニ) 地域の防火防災功労賞に関する事業（協働事業）

a 地震災害や風水害等の被害の軽減を図ることを目的として、東京消防庁が実施する町会・自治会・ボランティア団体及び各事業所等の地域の取組みを表彰する選考委員会に委員として参画した。（令和7年9月8日）

b 効果的な取組みを事例集として作成し、町会・自治会等に配布するほか、事例集をホームページに掲載し、防火・防災意識の普及啓発事業を実施した。（11,380部）

(ホ) 家具類の転倒・落下・移動防止対策（以下「家具転対策」という。）の普及啓発事業（協働事業）

地震時の室内における人的・物的被害軽減のため、家具転対策の普及啓発活動を実施した。

(ヘ) 自主防災活動等に対する助成事業

防火・防災思想の普及活動を行う団体、応急手当の普及啓発を行う団体の活動等に対し、助成事業を実施した。（185件）

(ヘ) 救急医療週間における応急手当及び救急についての普及啓発事業（協働事業）

救急医療週間及び各種イベントの機会を捉えて、著名人による応急手当及び救急車の適正利用に関する普及啓発活動を実施した。

令和7年度東京消防庁救急セミナー：【マラソンランナー/スポーツコメンテーター】

千葉真子さん、ルポール麹町（普及員再講習受講者84名、令和7年9月9日）

(㏐) 優良防火対象物認定表示制度（優マーク制度）の普及促進事業（協働事業）

優マーク制度に関する広報物を作成し、優マーク制度の普及促進事業を実施した。

ウェットティッシュの作成、配布（2,000個）、カイロの作成、配布（2,000個）

(㏑) 自衛消防訓練の普及促進事業（協働事業）

マンション等居住者に対する地震対策の周知及び当該方法による自衛消防訓練の実施促進を目的としたリーフレットを作成し、自衛消防訓練の普及促進事業を実施した。

リーフレット作成、配布（70,000部）

(㏒) 東京消防庁音楽隊コンサート会場における防火・防災普及啓発事業（協働事業）

東京消防庁音楽隊の都民と消防のふれあいコンサートにおいて、防災啓発動画等を放映し、防火防災思想の普及啓発事業を実施した。（令和7年7月27日及び8月2日）

(㏓) 防火防災管理講習等のオンライン化の周知（協働事業）

防火管理者等の育成及び防火・防災管理講習のオンライン講習普及啓発を目的としてリーフレットの作成及び配布を実施した。

リーフレットの作成、配布（80,500部）

イ 消防用設備等点検済表示制度の推進事業

最新の知識と技術を身に付けた点検業者（表示登録事業者）による消防用設備等点検を促進することを目的として、次の事業を実施した。

(㏔) 制度をより浸透させるための広報及び点検済票貼付の促進（一部協働事業）

制度の周知と表示登録事業者の拡大を目的として、広報物を作成し配布したほか、ホームページや関係団体が発行する機関誌に制度の概要や表示登録事業者の募集等を掲載し、広報した。（表示登録事業者306事業所、点検済票交付677,800枚）

ポケットティッシュの作成、配布（45,500個）

(㏕) 表示登録事業者に対する講習

表示登録事業者の実務能力の向上を目的として、点検保守業務に関する実技講習及び学科講習を開催し、法令改正や消防用設備等に係る最新の情報を提供した。

また、表示登録事業者に対するフォローアップとして、実技講習会の資料をホームページに掲載し、知識及び技術の向上につながるサポートを実施した。

（実技講習1回41名、学科講習1回40名）

(㏖) 点検推進指導員による登録申請内容の確認事務

消防用設備等点検済表示制度の円滑な運用を目的として、表示登録事業者の事業所や点検実施場所に当協会の点検推進指導員が出向し、点検実施状況や消防用設備等に貼付する点検済票の管理方法を確認及び指導を実施した。（指導回数100件）

## ウ 東京民間救急コールセンター運営事業

### (7) 救急車の適時・適切な利用に関するリーフレット制作（協働事業）

東京民間救急コールセンター運営事業として救急車の適正利用と東京民間救急コールセンターの利用促進を目的に、東京消防庁との協働事業で作成した「救急車の適時・適切な利用に関するリーフレット」を10万部制作し、東京都内各消防署を通じ管内医療関係機関に配布した。

### (4) 東京消防出初式等において、車両展示等による広報活動を実施した。

### (9) 民間救急及びサポートC a b（タクシー）利用者との調整、配車案内

救急需要対策として、緊急性がない通院や受診、入退院や病院から病院への転院搬送等の際に、電話またはホームページにより、民間救急またはサポートC a bを案内した。

民間救急：1,464件、サポートCab：112件、相談642件

### (5) コールセンター登録事業者等に対するレベルアップ事業

コールセンターの登録事業者等に対して、容態が急変した場合の対応や、より質の高い患者搬送に資することを目的とした講習会を実施した。

また、レベルアップ講習会の講義内容を登録事業者のみが閲覧できるよう動画編集し、協会ホームページ上に公開した。

第1回講習会：13事業者17名（令和7年10月26日）

第2回講習会：11事業所17名（令和7年11月4日）

## エ 救命講習インストラクター指導員制度の試行

救命講習の質の向上を図ることを目的に、インストラクターの指導能力向上を図るため、専門的な知識・技術を有しインストラクターへ指導・助言を行う者を「インストラクター指導員」として設置し、各救命講習会場を巡回することで、指導や助言を行う制度を試行した。

試行の結果として一定の成果が挙げられたため、令和8年度から本運用とする。

## オ 表彰事業

防火・防災に関する事業を長年にわたり積極的に推進し社会貢献を実施している団体、個人に対して次の区分毎に表彰を実施した。

### (7) 協会上申による表彰関係

#### a 黄綬褒章 0名（令和7年度該当なし）

永年にわたり消防機器の研究開発及び製造販売業務や消防設備保守業務等に精励するとともに、業界の発展に大きく寄与した個人に対する表彰。

b 総務大臣表彰 個人1名、1団体（令和7年7月10日）

安全思想の普及徹底または安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育または災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、または貢献した個人・団体に対する表彰。

c 消防庁長官表彰

永年にわたり、危険物関係事業所などにおいて危険物取扱いの技術向上、施設改善などにより、危険物の安全管理に努める等、国民生活の安全確保に顕著な功績のあった個人・団体に対する表彰。

また、消防用設備等の設置及び維持管理の適正化を通じ、消防行政の推進に寄与し、その功績が顕著であった個人に対する表彰。

- ・優良危険物関係事業所 1事業所（令和7年6月9日）

- ・消防設備保守功労 個人2名（令和7年10月17日）

d 一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰

国民の安全に係る研究、教育、訓練、安全思想の普及、防災機器・製品の普及等について、長年にわたり貢献し特に優れた功績をあげた個人・団体に対する表彰。

また、消防用設備等の設置、維持管理の適正化等に関し、永年にわたり、適正な業務を行い、または適正な業務の推進に尽力した個人・団体に対する表彰。

- ・消防設備保守功労 個人6名（令和7年10月17日）

- ・点検済表示制度推進優良事業所 3事業所（令和7年10月17日）

- ・防災安全功労者 個人1名、1団体（令和7年10月17日）

e 一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰

永年にわたり危険物関係業務に携わり、危険物災害の防止等に多大な功績をあげた個人・事業所に対する表彰。

- ・危険物保安功労 個人2名（令和7年6月9日）

- ・危険物関係事業所 1事業所（令和7年6月9日）

- ・退任感謝状 個人1名（令和7年6月9日）

f 関東甲信越地区危険物安全協会連合会長表彰

個人11名、1事業所（令和7年5月15日）

危険物施設の設備等の維持管理並びに保安管理等が優秀で他の模範となる個人・事業所に対する表彰。

(f) 当協会理事長による表彰

a 防火防災管理功労 個人51名、27事業所（令和7年10月14日）

防火安全の普及に努め、防火防災教育及び訓練等で顕著な功績を収めた団体及

び防火管理団体の運営に多大な功績を収めた個人に対する表彰。

b 危険物保安功労 個人46名、31事業所（令和7年5月27日）

法令等を遵守し保安管理が適正で他の模範と認められる団体及び危険物に関する保安の確保、安全思想の普及等に多大な功績を収めた個人に対する表彰。

c 消防設備保守功労 個人8名、8事業所（令和7年10月14日）

消防用設備等の保守業務において、表示登録事業者として長年の実績を有する団体及び消防用設備等の保守業務において功績を収めた個人等に対する表彰。

d 応急手当普及功労 2団体（令和7年10月14日）

応急手当に関する各種講習会、行事等を積極的に推進し、応急手当の普及活動に取り組んだ団体・事業所及び個人に対する表彰。

e 防災安全推進功労 1団体（令和7年10月14日）

防災に関する各種訓練及び行事等を積極的に推進し、防災思想の普及及び地域の防災行動力の向上に積極的に取り組んだ団体・事業所及び個人に対する表彰。

f 協会運営等功労感謝状 個人1名、3事業所等（令和7年10月14日）

協会運営の発展及び事業の推進等に貢献をした団体及び個人に対する感謝状贈呈。

g 救急業務推進功労感謝状 2事業所（令和7年10月14日）

患者搬送事業の推進に多大な貢献をした事業所に対する感謝状の贈呈。

h 理事等退任感謝状（随時表彰） 個人62名、3事業所

理事等を務め、当協会の発展に多大な貢献をした個人又は団体に対する感謝状贈呈。

## (2) 防火・防災・応急手当講習事業（公1-2）

防火・防災の専門家及び技術者の育成並びに応急手当及び救命に関する知識、技術の習得を図ることを目的として、次の事業を実施した。

### ア 法令等に定められた資格取得講習

防火安全技術講習及び防火管理技能講習では、再講習含む講習修了者に対し、最新の消防関係法令の改正を踏まえた火災予防対策に係る動画を視聴できる環境を提供し、知識及び技術の向上につながるサポートに努めた。

| 講習名      |     | 回数         | 人数            |
|----------|-----|------------|---------------|
| 防火安全技術講習 | 本講習 | 3回         | 117名          |
|          | 再講習 | 5回<br>(3回) | 189名<br>(94名) |
| 防火管理技能講習 | 本講習 | 4回         | 702名          |

|                     |     |            |                |
|---------------------|-----|------------|----------------|
|                     | 再講習 | 6回<br>(3回) | 669名<br>(197名) |
| 消防設備点検資格者講習         | 本講習 | 9回         | 1,245名         |
|                     | 再講習 | 17回        | 1,687名         |
| 可搬消防ポンプ等<br>整備資格者講習 | 一般  | 1回         | 22名            |
|                     | 特例  | 1回         | 69名            |
|                     | 再講習 | 1回         | 61名            |
| 防火対象物点検資格者講習        | 本講習 | 2回         | 292名           |
|                     | 再講習 | 3回         | 346名           |
| 防災管理点検資格者講習         | 本講習 | 2回         | 189名           |
|                     | 再講習 | 3回         | 211名           |

※( )はオンライン講習の内数

#### イ 資格取得のための受験準備講習会

危険物及び予防行政等に精通した専門講師により、最新の法令改正内容や教訓となる災害事例を交え、各資格取得試験に向けた講習会を実施した。

- (7) 危険物取扱者試験受験準備講習会では、都民の安全・安心に携わる消防学校学生に対して受講料の割引制度を導入し、資格取得支援を行った。
- (4) 消防設備士試験受験準備講習会では、都民の安全・安心に携わる消防学校学生及び消防用設備等点検済表示登録事業者に対して受講料の割引制度を導入し、資格取得支援を行った。

| 講習名                                |         | 回数               | 人数               |
|------------------------------------|---------|------------------|------------------|
| 危険物取扱者試験<br>受験準備講習会                | 甲種      | 2回               | 37名              |
|                                    | 乙種第2、3類 | 1回               | 21名              |
|                                    | 乙種第4類   | 6回<br>オンラインは通年   | 271名<br>123名     |
| 消防設備士試験受験準備講習会<br>(乙種第6類) ※オンラインのみ |         | 通年               | 103名             |
| 自衛消防技術試験受験準備講習会                    |         | 20回<br>(学科オンライン) | 1,276名<br>(201名) |

※( ) オンライン講習の内数

#### ウ 小規模社会福祉施設等の防火実務講習会 (27回519名)

(現：オーダーメイド型防火防災実務講習会)

社会福祉施設のほか、インターナショナルスクール等にも対象を広げ、火災発生時に取るべき行動について、ARゴーグルを活用しながら、それぞれの施設の実情に応じた実践的な訓練を通して学ぶことができる出張オーダーメイド型の防火実務講習会を実施した。

#### エ 応急手当の普及啓発に関する講習会等

協会が作成した映像教材等を活用し、受講者や各種団体の多様なニーズに応じた講習

を実施した。

| 講習名                     | 回数   | 人数     |
|-------------------------|------|--------|
| 救命サポート講習                | 44回  | 1,437名 |
| 大規模事業所における救助・救命講習（3事業所） | 185回 | 4,043名 |
| 島しょ地域の救命講習              | 2回   | 34名    |

オ 防火安全セミナー（令和7年8月6日）（協働事業）

消防法令の改正等に関する内容を都内事業所等関係者に周知することにより、火災予防業務等の適正かつ円滑な実施及び防火意識の普及啓発を促すことを目的としたセミナーを東京富士大学で実施するとともに、受講機会の拡大のためオンデマンド型セミナーを実施した。

東京富士大学二上講堂で開催（参加者171名）

オンデマンド配信（参加者186名）

カ 中学生を対象とした防災イベントにおける防火・防災普及啓発事業（協働事業）

各防災館において、外部講師による講義と既存のツアー等をパッケージ化したイベントを都内に在学する中学生を対象に実施した。

(3) 防火・防災・救急関係調査研究事業（公1-3）

都民をはじめ不特定多数の安全・安心を確保するための取組みに活かすとともに防火・防災及び救急に関する思想の普及を図ることを目的に、次の事業を実施した。

ア 防火・防災・救急の意識と行動力の向上に関する調査研究

防災関連施設等を訪問し、効果的な運営方法等に関する調査研究を実施した。

(7) 「東日本大震災津波伝承館」「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」「石巻市震災遺構大川小学校」「みやぎ東日本大震災津波伝承館」「石巻市震災遺構門脇小学校」  
(令和7年5月28日～29日)

(4) 「岩手県宮古市から釜石市までの震災遺構」「大船渡市大規模林野火災現場」「高田松原津波復興記念公園」(令和7年11月5日～6日)

(7) 「数鹿流崩之展望所」「阿蘇火山博物館」「熊本地震震災ミュージアム」「熊本城」「熊本県防災センター」(令和8年1月29日～30日)

イ 指導員の技能向上及び効果的な講習の実施要領に関する調査研究

応急手当に係る最新の知識・指導手技及び講習指導に関する救命救急の動向等について、情報収集を実施した。

(7) 日本臨床救急医学会（令和7年6月19日～21日）

(4) 日本救急医学会（令和7年10月28日～30日）

(7) 全国救急隊員シンポジウム（令和8年1月22日～23日）

#### (4) 試験確認事業（公１－４）

都内で流通する少量危険物タンク及び金属製１８リットル缶等の試験確認を実施することにより、危険物の貯蔵又は取扱いの安全確保を図ることを目的に、次の事業を実施した。

- ア 少量危険物タンク試験確認（４件）
- イ 金属板製１８リットル缶等試験確認（１１件）
- ウ 試験確認済証交付（１２,５００枚）

#### (5) 患者用救急自動車運行事業（公１－５）

東京都立小児総合医療センターと他の小児科医療施設間における新生児、小児患者の転院搬送及び精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく精神障害者等の緊急搬送等に携わる緊急自動車の運行を行うことにより、都民の生命身体の保護及び救急需要対策に資することを目的に、次の事業を実施した。

- ア 東京都立小児総合医療センターにおいて、新生児搬送用及び小児搬送用のドクターカー２台を運行した。（出動４６５件、搬送人員４２９名）
- イ 令和７年８月１日に最新の遠隔診療対応機器を備えた小児用ドクターカーへ更新された。
- ウ 東京都福祉局荏原分室において、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく精神障害者搬送用の緊急自動車５台を運行した。  
（出動１,６２４件、搬送人員１,４９２名）

## ２ 公２事業

### (1) 防火・防災・消防講習事業(公２－１)

防火管理者、防災管理者、危険物取扱者及び消防設備士の育成を行い、防火対象物、危険物施設等における災害発生の未然防止、地震等の災害による被害の軽減等を図り、社会公共の福祉の増進に資することを目的として、次の事業を実施した。

なお、東京消防庁消防技術試験講習場が令和７年１０月に１年間の改修工事を終え、メインの会場として講習を再開した。

#### ア 防火・防災管理講習事業

| 講習名         | 回数            | 人数                   |
|-------------|---------------|----------------------|
| 防火・防災管理新規講習 | 211回<br>(87回) | 28,207名<br>(13,238名) |
| 防災管理新規講習    | 8回            | 760名                 |
| 乙種防火管理講習    | 38回           | 2,767名               |
| 防火・防災管理再講習  | 19回           | 1,206名               |
| 甲種防火管理再講習   | 12回           | 907名                 |

※( )はオンライン講習の内数

イ 消防講習事業

| 講習名        | 回数           | 人数                 |
|------------|--------------|--------------------|
| 危険物取扱者保安講習 | 31回<br>(12回) | 4,454名<br>(1,675名) |
| 消防設備士講習    | 56回<br>(33回) | 8,389名<br>(3,620名) |

※( )はオンライン講習の内数

(2) 救命講習事業（公２－２）

都民の尊い人命を救うため、応急手当の知識及び技術の向上を図り、広く都民の屋内外における各種事故（急病を含む。）や災害から人命被害の防止及び軽減に寄与することを目的に、次の事業を実施した。

| 講習名          | 回数     | 人数       |
|--------------|--------|----------|
| 普通救命講習       | 3,290回 | 119,242名 |
| 普通救命再講習      | 1,114回 | 17,782名  |
| 上級救命講習       | 1,117回 | 25,477名  |
| 上級救命再講習      | 900回   | 16,942名  |
| 応急手当普及員講習    | 61回    | 944名     |
| 応急手当普及員再講習   | 137回   | 1,674名   |
| 現場派遣員基礎講習    | 21回    | 211名     |
| 現場派遣員実務講習    | 39回    | 398名     |
| 患者等搬送乗務員基礎講習 | 34回    | 272名     |
| 患者等搬送乗務員再講習  | 29回    | 461名     |
| 応急手当指導員再講習   | 8回     | 144名     |

ア 応急手当に関する自信度を高めるための課題を的確に抽出するため、受講者へのアンケート等の調査を実施し、得た結果を東京消防庁と共有するとともに、実際にＡＥＤの使用要領等をその場で確認できるよう、東京消防庁公式アプリ上に搭載されている応急手当に係るサポート動画を受講者等へ周知しながら、同アプリの利用促進を図った。

イ 受講者に対するフォローアップとして、講習内容を見直し、応急手当への自信度を深めることができるよう受講者専用の応急手当動画を作成することで、知識及び技術の向上につながるサポートを実施した。

ウ 各種救命講習の質の向上を図ることを目的に、救命講習等のインストラクター（応急手当指導員）に指導・助言を行う専門的知識・技術を有する者を「インストラクター指導員」と称し、インストラクター指導員が各救命講習会場を巡回して、インストラクターへ技術指導や助言を行い、インストラクターの指導能力向上を図った。

### 3 公3事業

| 館等    | 開館日数      | 来館者数                  |
|-------|-----------|-----------------------|
| 消防博物館 | 305日      | 184,271名<br>(26,210名) |
| 池袋防災館 | 323日      | 55,412名<br>(15,287名)  |
| 立川防災館 | 296日      | 67,857名<br>(1,610名)   |
| 本所防災館 | 296日      | 126,797名<br>(24,247名) |
| 起震車   | 稼働日数 339日 | 245件、体験者 31,467名      |

※（ ）内外国人の内数

#### (1) 消防博物館運営事業（公3-1）

防火防災思想の普及及び防災行動力の向上を目的として、消防博物館を運営するにあたり、次の事業を実施した。

ア 立入検査の模擬体験ができる展示装置をはじめとする自主防火管理のコーナー等、リニューアルされた「現代の消防」コーナーを公開するとともに、所蔵品の公開展示や地域社会の関心を捉えた特別企画を実施する等、幅広い層の来館者に対し、防火防災思想の普及を促進した。

イ これまで消防博物館のデジタル化で進めてきたオンライン環境による情報発信等（ポケット学芸員の導入、360度カメラによる館内パノラマツアー、収蔵品サイトの公開）の各種ツールを引き続き活用し、これまで来館していない層の掘り起こしを図った。

ウ 消防博物館に親しんでもらうことを目的に、消防自動車に特化したガイドツアー、携帯電話を活用したクイズラリー、子ども向けワークショップの3つの企画を新たに実施した。

エ 企画展等については、別紙1のとおり。

#### (2) 防災館運営事業（公3-2）

防火防災思想の普及及び防災行動力の向上を目的として、各防災館を運営するにあたり、次の事業を実施した。

ア 池袋・立川・本所の各防災館において、火災、地震及び水災等の模擬体験コーナーを活用し、各館の特色を生かしながら満足感を得てもらえる、きめ細やかな体験ツアーを実施した。

##### ㊦ 池袋防災館

a 夜間の災害を想定した体験ツアー（ナイトツアー）や、外国人を対象とした「やさしい日本語」の防災体験ツアーを実施した。

b 日中の時間帯に来館された来館者に対して、夜間の災害を想定した体験ツアー（サ

ンセットナイトツアー)を実施した。

(f) 立川防災館

- a 令和7年9月6日に来館者累計250万人を突破し、250万人目の来館者に対して記念品を贈呈した。
- b フルリニューアルを実施した地震体験コーナーを令和8年3月20日から一般公開した。
- c 第八方面消防救助機動部隊、東京消防庁航空隊及び東京消防庁音楽隊と連携したイベントを実施し、防災館の周知等を図った。
- d 起震車を活用して、学校、地域及び事業所等の防火防災訓練を実施した。

(g) 本所防災館

- a 水害を想定した浸水体験ツアー(ウォーターツアー)を実施した。
- b 震災後の重要な人命救助を速やかに実施できるようスタンドパイプを活用した訓練やジャッキ操作等の実技訓練指導を実施した。
- c 開館30周年の節目を迎え、「本所防災館30周年の歩み」の展示及び来館者に記念品を配布し来館者に感謝するとともに、防災意識の向上を図った。

(h) 3館共通

1歳未満のお子様がいるパパママ、これから新しくパパママになる方などを対象とした子どもの事故防止と応急手当の講座(新米パパママのための応急手当講習会)を実施し、お子様に対する各種事故防止への不安解消や応急手当の知識及び技術の向上を図った。

イ 各防災館の企画展等については、別紙2のとおり。

## II 収益事業

### 防災・救急関係図書等販売事業(収1-1)

防火・防災・救急に関する図書、資器材等の販売、法令に基づく防火対象物の認定証頒布等、次の事業を実施した。

#### 1 防火・防災・救急関係図書及び資器材の販売

令和7年4月1日から、防火・防災管理講習等の講習教材において、協会オンラインショップ(ＥＣサイト)での事前購入及び決済時のキャッシュレス化を図った。また、防火・防災意識及び救急についての普及啓発のため、関連する資器材等の販売を行った。

- (1) 防火・防災関係図書(121,917冊)
- (2) 救急関係図書(408,025冊)
- (3) 救急関係資器材(218,293個)

## 2 グッズの販売

ハローキティの消防官バージョングッズ、ブロック消防ヘリコプター、TBSテレビアニメ「火喰鳥 羽州ぼろ鳶組」とコラボした商品等を新たに企画製作し、若年層や在留外国人を含む幅広い層に対しての防火・防災意識の向上を図った。

防火・防災・救急関係グッズ販売（63,021個）

## 3 防火セイフティマーク、優良防火対象物認定証等の頒布

- (1) 防火・防災基準点検済証（15枚）
- (2) 防火・防災優良認定証（16枚）
- (3) 優良防火対象物認定証（11枚）
- (4) 患者等搬送用自動車用認定マーク（37枚）
- (5) 患者等搬送事業所用認定マーク（7枚）

## III その他法人の目的を達成するために必要な事業

### 1 グローバル社会への対応

- (1) 外国人スタッフを中心とした各種講習等への対応

都内在住の外国人が年々増加する中、言語や文化の壁を越えた防災意識の啓発と防災行動力の向上は喫緊の課題となっていることを踏まえ、固有職員である外国人スタッフの知見を最大限に活用し、外国人ならではの視点やニーズを反映した講習や防災体験等を推進した。

主な実績として、消防博物館や各防災館での体験ツアーを通じ、当事者目線に立った実効性の高い啓発活動を展開したほか、救命サポート講習では都内の事業所や各種団体からの要望に応じて、英語で学べる応急手当に関する講習を実施した。

また、大使館やインターナショナルスクール等の職員を対象とした防火実務講習会を実施し、災害発生時に適切な初動判断を行える能力の育成に努めるなど、多様なニーズに即した防災教育体制を構築し、多文化共生社会における地域の安全性を高めた。

- (2) 多言語翻訳ツールの試行的導入

世界各国からの在留外国人への対応として、23か国の言語に対応し、体験ツアー参加者等に対して同時翻訳が可能な「多言語翻訳ツール」を令和7年11月から消防博物館・各防災館等において、試行的に導入した。

### 2 DX推進の体制強化

DXの推進については、令和7年度から新たにDX推進担当課長代理を設置し、東京都及び東京消防庁のDX推進の動向に合わせ、都民の利便性及び協会の事務効率の更なる向上を図ることを目的として、各種システムの導入や整備を推進した。

### 3 システムの最適化計画の推進

消防用設備等点検済表示登録事業者の管理システムを作成し、運用を始めた。

#### 4 オンライン講習の更なる充実

各種講習におけるオンライン講習について、受講者の拡大を目的としたアンケート調査等の結果を分析、検証し、受講者のニーズを適切に踏まえながら事業を推進した。

#### 5 AR技術を活用した事業

近年のデジタル技術の発展によるAR技術（拡張現実）を活用し、時代のニーズに即した防火実務講習を事業所、病院、教育機関等にて実施した。

#### 6 東京マラソン2026への協力

- (1) 大会ボランティアスタッフを対象に応急手当に関する正しい知識と技術を習得させ、マラソン競技中に会場等で発生した傷病者へ速やかに対応するための救命講習を実施した。  
(普通救命講習2回、受講者310名)
- (2) 東京マラソンの後援団体として、東京マラソン2025開催時に救護所等へ職員を派遣した。(救護活動支援26名、コールセンター登録事業者車両41台)

#### 7 東京2025世界陸上におけるマラソン競技救護活動

公益財団法人東京2025世界陸上財団からの協力依頼に基づき、令和7年9月14日、15日に実施された東京2025世界陸上におけるマラソン競技の救護活動のため、指示センターや現地救護所等においてコールセンター登録民間救急事業者5台と連携し、マラソン参加選手の救護活動支援を行い安全な競技運営に寄与したことから、世界陸上財団から感謝状を授与された。

#### 8 第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025への協力

東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部の職員を対象に、応急手当に関する正しい知識と技術を習得させ、大会期間中に会場等で発生した傷病者へ速やかに対応するための救命講習を実施したことから、全日本ろうあ連盟・東京都・東京都スポーツ文化事業団から感謝状を授与された。(普通救命講習2回、受講者142名)

#### 9 救命講習受講管理システムの構築

新たな救命講習受講管理システムについては、講習申込におけるWeb申請、キャッシュレス決済機能の追加など、都民の利便性向上や協会職員の事務効率化を主眼とした設計及び運用要件定義などの初期開発を完了した。

今後は令和8年9月の運用開始に向け、各種テスト、現システムからの移行、職員教育を実施する。

### IV 協会の運営管理

#### 1 評議員会、理事会の開催

協会の適法かつ円滑適切な運営を図ることを目的として、評議員会及び理事会を開催した。

- (1) 第60回理事会（令和7年6月5日）
  - 第1号議案「令和6年度事業報告及び附属明細書について」
  - 第2号議案「令和6年度決算報告（貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書）  
及び財産目録について」
  - 第3号議案「評議員の候補者について」
  - 第4号議案「理事の候補者について」
  - 第5号議案「監事の候補者について」
  - 第6号議案「第43回評議員会（3月期）の招集について」
- (2) 第42回評議員会（令和7年6月20日）
  - 第1号議案「令和6年度決算報告（貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書）  
及び財産目録について」
  - 第2号議案「評議員の選任について」
  - 第3号議案「理事の選任について」
  - 第4号議案「監事の選任について」
- (3) 第61回理事会（令和7年6月20日）
  - 第1号議案「理事長（代表理事）の選定について」
  - 第2号議案「副理事長（代表理事）の選定について」
  - 第3号議案「専務理事の選定について」
- (4) 第62回理事会（令和7年6月27日）
  - 第1号議案「理事長（代表理事）の選定について」
- (5) 第63回理事会（令和8年3月3日）
  - 第1号議案「令和8年度事業計画書及び収支予算書等について」
  - 第2号議案「特定資産の取り崩しについて」
  - 第3号議案「理事の候補者について」
  - 第4号議案「第43回評議員会（3月期）の議題の追加について」
  - 第5号議案「第44回評議員会（6月期）の招集について」
- (6) 第43回評議員会（令和8年3月13日）
  - 第1号議案「理事の選任について」
  - 第2号議案「公益財団法人東京防災救急協会評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部改定について」
- (7) 第64回理事会（令和8年3月26日）
  - 第1号議案「令和7年度役員報酬支給額の改定について」

## 2 ガバナンスの体制強化及びコンプライアンスの確保に向けた取組み

組織横断的な指導権限を有する「ガバナンス担当課長」を総務課内に新設するとともに、コンプライアンス専門指導員と連携した内部監査の実施、コンプライアンス推進委員会の開催及び監事監査結果等の全職員への周知を行い、指導体制を含む組織的な内部統制の強化を図った。

- (1) 監査法人による公益法人会計監査（期末監査）（令和7年5月12日～14日）
- (2) 監事による令和6年度会計・業務監査（期末監査）  
（令和7年5月21日、23日、26日）
- (3) 監査法人による公益法人会計監査（期中監査）（令和7年11月13日、14日）
- (4) 監事による令和7年度会計・業務監査（期中監査）  
（令和7年7月9日、12月8日、15日、16日、17日）
- (5) コンプライアンス専門指導員による内部監査  
（令和7年5月15日、5月23日、8月25日、11月6日、令和8年1月30日）
- (6) コンプライアンス 推進委員会  
（令和7年6月9日、9月10日、12月3日、令和8年2月16日）

## 3 情報セキュリティの強化

情報セキュリティ体制の更なる強化を図るため、東京都デジタルサービス局の支援により、協会ウェブサイトやネットワーク機器等のセキュリティ脆弱性診断を行うとともに、職員に対する教育の一環として、eラーニングを活用した情報セキュリティに関する知識の習得、標的型攻撃メールを想定した訓練の実施など、情報セキュリティの強化に向けた取組みを実施した。

## 4 働きがいのある職場づくり

令和6年度に実施した職員意識調査の結果を踏まえ、eラーニング教養による学習環境の導入やデジタル環境の整備を実施し、利便性の向上と業務の効率化を図りながら、職員の業務環境の改善を進めた。

## 5 防災関係団体との連携交流

一般財団法人全国危険物安全協会、一般財団法人日本消防設備安全センター等と連携し、事業の円滑化を図ることを目的として、積極的な交流を図った。

## 6 職員の人材育成

都民や受講者へのサービスの向上を図ることを目的として、教育技能研修や主任研修等の受講による人材育成を推進した。

また、これらの取組みにより、固有職員5名が昇任選考試験に合格した。

## 7 職場体験の受入れ

社会貢献活動の一環として、職場体験型インターンシップの受入れを実施した（救急指導課及び池袋防災館に東京都立大学生各1名、本所防災館に東京都立大学生1名、神奈川大学

生1名)。

## **8 賀詞交換会の実施**

令和8年1月16日(金) 17時30分からスクワール麴町にて賀詞交換会を実施した。

## 別紙1

### 1 博物館

#### (1) 企画展

| 開催期間            | 名称                                                 | 来館者数    |
|-----------------|----------------------------------------------------|---------|
| 4月26日<br>～5月25日 | ゴールデンウィーク・こどもの日特別企画展<br>「集まれ！世界の消防ミニカー展」           | 19,003名 |
| 5月31日<br>～6月29日 | 松田嘉徳氏写真展（元毎日新聞カメラマン）<br>「レスキュー～都民を守る東京消防庁～」        | 17,469人 |
| 7月12日<br>～9月15日 | 前期特別企画展<br>「錦絵から見る江戸の火消」                           | 41,516名 |
| 11月1日<br>～3月8日  | 後期特別企画展<br>「昭和百年～昭和の消防を振り返る～」                      | 59,186名 |
| 1月6日            | 令和8年東京消防出初式出張展示<br>消防博物館×「火喰鳥 羽州ぼろ鳶組」コラボレーシ<br>ョン展 |         |
| 2月3日<br>～3月22日  | 東日本大震災・原子力災害伝承館出張展示                                | 24,661名 |
| 3月20日<br>～5月24日 | 消防博物館×「火喰鳥 羽州ぼろ鳶組」コラボレーシ<br>ョン展                    | 33,073名 |

#### (2) イベント

| 開催期間          | 名称                                            | 参加者数           |
|---------------|-----------------------------------------------|----------------|
| 通年<br>(毎週土曜日) | ワークショップ                                       | 673組<br>1,789名 |
| 10月1日         | 都民の日特別イベント<br>「アーレンス・フォックス消防ポンプ自動車 乗車<br>撮影会」 | 60組<br>152名    |
| 12月21日        | クリスマスイベント<br>「アーレンス・フォックス消防ポンプ自動車 乗車<br>撮影会」  | 145組<br>420名   |

#### (3) 関係機関との連携事業

| 開催期間           | 名称                     | 参加者数 |
|----------------|------------------------|------|
| 7月1日<br>～3月31日 | 「行こう、学ぼう、防災体験」（東京都教育庁） | 154名 |

## 別紙2

### 1 池袋防災館

#### (1) 企画展

| 開催期間            | 名称                                              | 来館者数   |
|-----------------|-------------------------------------------------|--------|
| 4月26日<br>～5月6日  | ゴールデンウィーク・こどもの日特別企画展                            | 1,344名 |
| 6月17日<br>～6月30日 | 風水害対策特別企画展                                      | 2,441名 |
| 8月16日<br>～9月5日  | 防災週間特別企画展<br>「関東大震災から学ぶ、首直下地震への備え」              | 3,453名 |
| 9月7日<br>～13日    | 救急医療週間特別企画展<br>「救急の日・救急医療週間に救急について学ぼう」          | 1,428名 |
| 11月1日<br>～16日   | 秋の火災予防運動特別企画展<br>「その火が、すべてを変える」                 | 3,203名 |
| 1月10日<br>～20日   | 防災とボランティア週間特別企画展<br>「防災と知識とボランティアの力で守ろう、私たちの地域」 | 1,028名 |
| 2月21日<br>～3月10日 | 春の火災予防運動特別企画展<br>「命を守る習慣、はじめよう！」                | 3,730名 |

#### (2) イベント

| 開催期間              | 名称                              | 参加者数等          |
|-------------------|---------------------------------|----------------|
| 5月30日             | サンセットナイトツアー                     | 7組<br>15名      |
| 12月19日<br>～12月25日 | クリスマス企画                         | 134組<br>772名   |
| 通年<br>(毎週金曜日)     | ナイトツアー                          | 259組<br>1,011名 |
| 通年 (24回)          | 新米パパママ応急手当講習会                   | 138組<br>367名   |
| 通年 (24回)          | 外国人のための防災体験<br>(やさしい日本語防災体験ツアー) | 71組<br>162名    |

#### (3) 関係機関との連携事業

| 開催期間           | 名称                               | 参加者数   |
|----------------|----------------------------------|--------|
| 7月1日<br>～3月31日 | 「行こう、学ぼう、防災体験」 (東京都教育庁)          | 1,203名 |
| 1月24日          | 外国人のための防災体験ツアー<br>(東京都生活文化スポーツ局) | 40名    |

## 2 立川防災館

### (1) 企画展

| 開催期間              | 名称                                                                       | 来館者数   |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------|
| 4月26日<br>～5月6日    | ゴールデンウィーク・こどもの日特別企画展<br>「東京消防庁立川防災基地を知ろう」                                | 1,713名 |
| 6月1日<br>～6月30日    | 風水害対策特別企画展<br>(令和元年東日本台風 台風19号における多摩地区の<br>被害状況写真及び家庭でもできる簡易水防工法の展<br>示) | 5,750名 |
| 7月15日<br>～8月13日   | 夏休み特別企画展<br>「ハイパーレスキュー隊化学災害対応車両・立川消防署<br>特殊車両」「消防クラシックカー」                | 6,371名 |
| 8月16日<br>～9月10日   | 防災週間特別企画展<br>「関東大震災から学ぶ、首都直下地震への備え」                                      | 5,526名 |
| 10月31日<br>～11月19日 | 秋の火災予防運動特別企画展<br>「わが家の防火対策を見直しましょう」                                      | 4,065名 |
| 1月9日<br>～21日      | 防災とボランティア週間特別企画展<br>「防災の知識とボランティアの力で守ろう、私たちの<br>地域」                      | 2,138名 |
| 2月20日<br>～3月11日   | 春の火災予防運動特別企画展<br>「命を守る習慣、はじめよう！」                                         | 3,684名 |

### (2) イベント

| 開催期間    | 名称                      | 参加者数 |
|---------|-------------------------|------|
| 4月29日   | ハイパーレスキュー隊見学会           | 278名 |
| 7月27日   | 夏休み特別企画「防災館ナイトツアー」      | 50名  |
| 11月9日   | 秋の火災予防運動特別企画「航空隊見学会」    | 54名  |
| 12月14日  | 冬休み特別企画「クリスマス防災ミニコンサート」 | 245名 |
| 2月15日   | 家族で出場「火災現場に急行せよ」        | 116名 |
| 3月6日    | 中学生防災体験イベント（協働事業）       | 136名 |
| 通年（24回） | 新米パパママ応急手当講習会           | 371名 |

### (3) 関係機関との連携事業

| 開催期間             | 名称                                   | 参加者数   |
|------------------|--------------------------------------|--------|
| 6月1日             | 外国人のための防災体験ツアー<br>(東京都生活文化スポーツ局)     | 65名    |
| 7月1日<br>～3月31日   | 「行こう、学ぼう、防災体験」(東京都教育庁)               | 1,520名 |
| 7月26日            | 「東京マイ・タイムライン」親子セミナー<br>(東京都総務局総合防災部) | 5組15名  |
| 8月5日             | 「夏休み親子講座」(東京都多摩消費者センター)              | 19組39名 |
| 8月23日            | わくわく!!ぼうさい体験教室<br>(東京消防庁防災部防災安全課)    | 485名   |
| 10月1日            | 都立大学プレミアムカレッジ防災体験(東京都立大学)            | 43名    |
| 12月5日<br>～12月10日 | 土砂災害防止に関する作品の展示<br>(東京都建設局)          | 1,110名 |

### 3 本所防災館

#### (1) 企画展

| 開催期間              | 名称                                  | 来館者数    |
|-------------------|-------------------------------------|---------|
| 4月26日<br>～5月6日    | ゴールデンウィーク・こどもの日特別企画展                | 2,226名  |
| 7月19日<br>～9月2日    | 夏休み特別企画展<br>「知ろう！日常に潜む危険」           | 11,402名 |
| 8月14日<br>～9月5日    | 防災週間特別企画展<br>「関東大震災から学ぶ、首都直下地震への備え」 | 5,642名  |
| 10月30日<br>～11月18日 | 秋の火災予防運動特別企画展<br>「大切な思い出と未来を守るために」  | 5,500名  |
| 1月8日～21日          | 防災とボランティア週間特別企画展<br>「防災とボランティア週間とは」 | 2,619名  |
| 2月20日<br>～3月10日   | 春の火災予防運動特別企画展<br>「目で確認 声出し確認 火の用心」  | 3,998名  |

#### (2) イベント

| 開催期間            | 名称                           | 参加者数 |
|-----------------|------------------------------|------|
| 5月3日            | ゴールデンウィーク・こどもの日親子防災体験        | 152名 |
| 6月14、15日        | ウォーターツアー                     | 27名  |
| 7月19日～29日       | 防災スタンプラリー                    | 453名 |
| 7月27日           | 親子ナイトツアー                     | 89名  |
| 11月27日<br>～1月6日 | ペーパークラフトコーナー                 | 448名 |
| 11月27日<br>～1月6日 | ぬりえ、クリスマスカード・絵馬の作成コーナー       | 549名 |
| 12月21日          | 親子防災体験「サンタと一緒に学ぼう防災体験」       | 67名  |
| 1月18日           | 親子ファイヤーファイターツアー              | 72名  |
| 3月14日<br>～4月20日 | 新入生、新社会人特別企画<br>「フレッシューズフェア」 | 472名 |
| 通年（10回）         | 新米パパママ応急手当講習会                | 173名 |

#### (3) 関係機関との連携事業

| 開催期間             | 名称                                  | 参加者数        |
|------------------|-------------------------------------|-------------|
| 7月1日<br>～翌年3月31日 | 「行こう、学ぼう、防災体験」<br>(東京都教育庁)          | 706名        |
| 8月7日～19日         | はたらく消防の写生会優秀作品展示（本所消防署）             | 3,573名      |
| 8月11日            | 東京マイ・タイムライン」親子セミナー<br>(東京都総務局総合防災部) | 71名         |
| 10月14日           | 在京大使館のための防災館ツアー<br>(東京都政策企画局)       | 47か国<br>75名 |
| 11月16日           | 外国人のための防災館ツアー<br>(東京都生活文化スポーツ局)     | 130名        |
| 11月27日<br>～12月2日 | 土砂災害防止に関する作品の展示<br>(東京都建設局)         | 2,135名      |

### 事業報告の附属明細書

令和7年度は、定款第8条第1項第2号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はなし。